

なぜ

神社、寺院を見て回るのが好きでよく出掛けます。そこで大井や柱に張ってある千社札を目にしますが、どんな意味があるので

しょうか。また、十数にも上の天井なごに張るのはどのような人で、どうやって張るのか、教えてください。

■神奈川県小田原市、会社員(50)

千社札その張り方と意味は

「せんじゃふた」という人が多いですが、私は「せんしゃふた」と呼んでいます。

社を回ると願いがかなうと信じていました。札はもともと木版印刷り

わりに札を交換していただと思いますが、それが広がって、江戸の末期には、色がきれいな浮世絵の技術

と共に千社札の交換会が盛んになっていったんです。今も色刷りがあります。張りの札は、本来黒一色でなければなりません。色があせて汚くなってしまふからです。天井や柱などに張ると、紙の方は朽ち落ちるが、墨にはニカワが入っ

ているので、いいものなら落ちないんですよ。私らは「抜ける」というんですが、紙の方だけ落ちて、文字だけ残るんですよ。高野山など気候のよいところでは、古い札が抜けて墨の部分だけがきれいに残っているのが結構ありますね。

それでも、観音様の札所（四国八十八カ所、坂東三十四カ所、秩父三十三カ所など）については、だいたい張らしてくれまして、これが観音信仰の本来の姿ですから。

見えない所が一番いき

本来、札を張るのは信心なので、張る場合は納経（300〜500円程度を払う）して、そのお寺のご宝印を納経帳にいたたき「張らしていただきたいです」とお願いして張るものなのですが、最近では、売名行為が多すぎます。

美観もあるでしょうが、人数が増えたことも一因だと思えます。風情にふさわしいほどの枚数であればいいんですが、売名行為でペタペタ張ってしまふ愚昧の人がいるんですよ。

札の文字はもともと、自分で書いていましたが、印刷があつて、規格の中にきちんとはまるのが江戸文字と言われるものです。その中でもたくさん種類があるんですが、「千社札」の文字は、ちようちんの字と同じ書き方なのです。回りを書いてから中をつぶしていく方法です。四角い枠で囲むとそれが一番はまるんですよ。

「今回のなるほど博士」に質問をお寄せ下さい。門下が紙面で回答します。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記して、〒51毎日新聞社生活家へ。匿名可。採用分、贈謝を送ります。

今週のなるほど博士

一番初めに札として張った（納札という）のが、平安時代の花山法皇と言われています。

江戸中期、神社やお稲荷さん信仰とも相まって「千社参り」がはやり、千社札が流行しました。家内安全、商売繁盛などを祈願し、千

で、墨一色が当たり前でしな。出先で同じ趣味の人が集まったりすると、名刺代



神社の天井やほりに張られた千社札

なってきた。方角「元賊じゃない」と、張らしてくれない所が多く

「今回のなるほど博士」に質問をお寄せ下さい。門下が紙面で回答します。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記して、〒51毎日新聞社生活家へ。匿名可。採用分、贈謝を送ります。